

● 策定スケジュール

このあと、12月に第3回ワークショップを開催し、誰が何を行うのかを話し合う予定です。
2月に第4回検討会を行い、本やすらぎ歩行空間プランについてまとめ、ニュースレターを発行する予定です。その後も検討を続け、来年9月のプラン完成をめざします。

[平成 21 年]

第 1 回検討会 (5 月 26 日)

第 1 回ワークショップ (7 月 4 日)

第 2 回検討会 (8 月 3 日)

第 2 回ワークショップ (9 月 3 日)

第 3 回検討会 (10 月 21 日)

区民フォーラム (11 月 4 日)

第 3 回ワークショップ (12 月ころ)

[平成 22 年]

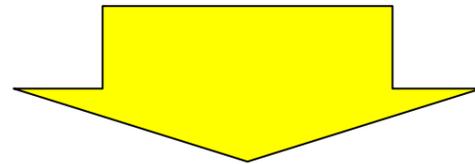
第 4 回検討会 (2 月ころ)

ニュースレター配布 (3 月ころ)

第 5 回検討会 (5 月ころ)

第 4 回ワークショップ (6 月ころ)

第 6 回検討会 (7 月ころ)



やすらぎ歩行空間プラン完成 (9 月ころ)



〔お問い合わせ〕

清田区役所 市民部 地域振興課
電話 889-2400 (内線 252)



やすらぎ歩行空間プラン検討会 中間報告

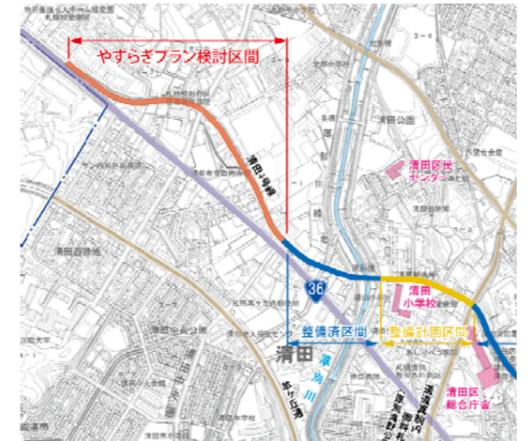
平成 21 年 11 月 4 日

旧国道 36 号の一部を「やすらぎ歩行空間」とすることをめざし、今年の 5 月から検討会やワークショップを開催して区民の皆さんと意見交換をしてきました。これまでの検討内容の概要をご報告します。

● やすらぎ歩行空間プランとは

古くから地域の生活を支えてきた旧国道 36 号は、清田区の発展を語る上で欠かすことのできない大切な道です。一部の区間については、平成 14 年度から再整備工事を進め、23 年度までに終了する予定となっています。

そのほかの区間は、現在のところ具体的な整備計画はありませんが、豊平区方面(清田 4 号線)については歩道の外側に広い敷地や、桜並木もあることから、整備の方法によっては素晴らしい空間になる可能性を秘めています。そこで、この区間の歩道と緑地空間について、沿道の企業の皆さんや区民の皆さんとともに考え、歩行者が心地よく利用できるような将来像を「やすらぎ歩行空間プラン」として描くことにしました。



● 4 つの重点検討分野

広い歩道ゾーンや桜並木など、旧国道 36 号がもつ地域資源を積極的に活かし、四季を通じて、区民が親しみを感じ、利用しやすく、安心して安全な道づくりを目指し、以下の 4 つの分野について配慮し検討しています。

- (1) 歴史・文化・・・旧道の歴史・文化を積極的に活かした空間の形成
- (2) 環境・・・並木や緑を生かした景観の形成
- (3) 健康・福祉・・・歩行者のやすらぎに配慮した歩行空間の形成
- (4) にぎわい等・・・つどい、やすらぎ、親しみを感じる空間の形成

● 検討会・ワークショップの開催経過

これまでに 3 回の検討会と 2 回のワークショップを開催しました。

第 1 回ワークショップでは検討区間を実際に歩き、魅力と課題を発見しました。

第 2 回ワークショップでは、改善提案と整備する場所について話し合いました。

検討会では、ワークショップでの意見のまとめと、次回のワークショップでの議題を話し合いました。



これまでの検討の内容を、次のページにまとめましたのでご覧ください。



旧道の整備ポイントと取組み内容の案

全体にかかわる提案⇒清田の歴史の入口として、テーマを持ったみどりが並び、散歩したくなる道にしていきたい

みどりの整備

⇒テーマ性を持たせることが重要。維持管理をする体制づくりが必要

- 提案① みどりロード(桜・リンゴ・野いちご→花・ラベンダー、ハーブ)
- 提案② やすらぎロード
- 提案③ 樹林ロード

中心となる高木の種類

⇒桜やナナカマドなど中心とする木を決めたい

- 提案① 桜並木を維持更新
- 提案② 桜の木を増やす
- 提案③ 桜並木を作るため現在の老木を処分
- 提案④ 春の桜に対して秋の木としてナナカマドを植える
- 提案⑤ 桜と桜の間に昔なつかしい実の成る低木の植栽ハスカップ、グスベリ、カリンズ、ブルーベリー、ヒメリンゴ等
- 提案⑥ マロニエを植樹

花壇の整備

⇒桜の時期以外にもきれいな花をみたい

- 提案① 緑石の歩道側にベルト(帯状)に花壇がほしい
- 提案② 外来種の花と清田に関わりのある花のどちらがいいか検討
- 提案③ 自生植物を導入するなら何があるか検討

ウォーキングコースの設定

⇒テーマを持たせて散歩したくなる道へ

- 提案① ウォーキングコースにネーミングをつける
- 提案② 病院の近く安心できることをPR
- 提案③ 史跡めぐりコースとして設定

歩行者と自転車の共存対策

⇒高齢者から子供まで誰もが安心して散歩するために対策が必要

- 提案① ベビーカーや車いす専用のコースを作る
- 提案② 人と自転車と車を分ける
- 提案③ 歩道と車道間にラテイス(仕切り)のようなものを設置
- 提案④ 車の速度を30km/h程度に制限
- 提案⑤ 車が通りづらいような工夫をする(道をガタガタ、音を出すなど)
- 提案⑥ イメージハンブなどのスピード抑制策

イベントの開催

⇒人が集まる道にするために、楽しいしかけが必要

- 提案① 農家の人と産直
- 提案② 朝市の開催
- 提案③ 歩行者天国の開催

電柱・電気・電話線の地中化

擁壁

⇒清田区の入口として大事な存在であり、擁壁の整備をしていきたい

- 提案① 清田を特徴づけるものを表示
例 1: これからの清田のアイデンティティとなるもの(白旗山、アンリベツ川、梅林)
例 2: 田・桜・リンゴがイメージできるもの

- 提案② 擁壁に蔓系の緑と実の成る低木の植栽

- 提案③ 歴史的な流れがエピソードとともに分かるよう表示

- 提案④ 「曲がりくねって上って下りて」印象づけるものを表示



坂の下の広場

⇒誰もが集い憩えるために、ベンチなどの整備をしていきたい

- 提案① 木ベンチを設置
- 提案② 緑愛病院に行く人が休めるようなベンチ
- 提案③ ステージ(小さいものでもOK)の設置

コカ・コーラ前の整備

⇒広いスペースを活かして、イベントや憩いの場所として整備していきたい

- 提案① コカ・コーラ前の傾斜を平らにして緑を植える
- 提案② 休憩用のいすを設置
- 提案③ 桜の時期に露店などのイベントを開催
- 提案④ 語りべの言葉をパネルにして表示
- 提案⑤ 歴史を表現する記念碑などを設置
- 提案⑥ ふるさと遺産、記念プレート設置
- 提案⑦ コカ・コーラ社員にも清掃をお願いする
- 提案⑧ 花壇を設置
- 提案⑨ 水飲み場を設置
- 提案⑩ コカ・コーラのフレームモニュメントを設置
- 提案⑪ 小学校のフレームのモニュメントを設置
- 提案⑫ 地面に歴史のパネルを埋め込む
- 提案⑬ コカ・コーラ前に水路の整備

その他(旧道全体について)

- 川と橋の風景を大切にしたい(橋の歩道にレストスペースを)
- 里塚小唄の碑を三里塚神社に建立した。将来のつながらり



旧道の入口

⇒前坂は旧道の入口として大事な場所

- 提案① 表示板をつける
- 提案② 語りべによる地域の歴史の紹介(パネル)
- 提案③ 坂(前坂と後坂)の由来をアピールしたい

坂になっている交差点
⇒高齢者から子供まで誰もが安心して歩くために対策が必要

- 提案① 交差点が斜めになっているので、歩行者からは車が突っ込んでくる感覚をもつ
- 提案② 自転車が坂でスピードが出るため、歩行者が危険。スピードが出ない対策が必要
- 提案③ 坂道をローラースケート等で遊べる工夫

休院中の鈴木外科の辺りにカフェテラスの設置



既設の花壇に各種のアジサイを植栽